

インド最新動向レポート（2022年8月）

◎新規感染 5,439 人（8/30）、前日比 2 千人減

インドではこれまで 4,400 万人以上が感染し、52 万人以上の死者を出している。一時期、毎日 40 万人以上が感染したが、8 月 30 日現在、一日の感染者数は 5,500 人程度に減少している。新型コロナワクチンの累計接種回数は 21 億 200 万回であり、接種率（2 回完了）は、総人口比で 66.7%となっている。

◎ジェトロ、日本産リンゴ輸出を前に試食会開催

日本産リンゴのインドへの輸出解禁により、本年 10 月より、輸出開始される予定。輸出開始を目前に控え、インドの各業者に日本産フルーツの魅力を伝えようと、日本貿易振興機構（ジェトロ）は 30 日、リンゴとモモの試食会をニューデリーで開催した。

◎スズキの印進出 40 年式典 Li-ion 電池生産、R & D 会社設立も

スズキのインド進出 40 年を記念し、グジャラート州とニューデリーにて記念式典が開催された。日本からはスズキの鈴木修相談役、鈴木俊宏社長、過去に貢献したスズキ OB が多数出席し、インド側からはモディ首相も参列した。スズキのインド四輪工場は現在、ハリヤナ州にあるマルチのグルガオン工場（年産能力 70 万台）とマネサール工場（80 万台）、スズキの 100% 子会社グジャラート工場（75 万台）である。

◎小麦粉の輸出を禁止、国内価格の上昇抑制

インド政府は 27 日、事前に許可を受けていない小麦粉の輸出を禁止した。国内価格の上昇を抑制する狙い。

◎国内 E V 市場は 2030 年まで年 49% 成長

インド・エネルギー貯蔵連合は 23 日、国内の E V 市場は 2030 年まで年平均 49% 成長するとの見通しを明らかにした。同年の販売台数は 1,700 万台に達し、うち約 1,500 万台を電動二輪車が占めるとの見方を示している。21 年の国内の電動車の販売台数は約 46 万 7,000 台で、半数が二輪車だった。

◎米誌の中規模優良企業リスト、インドから 24 社

米誌フォーブスが発表した 2022 年版中規模優良企業 200 社に、インドから 24 社が入った。リストは、年間売上高が 1,000 万米ドル（約 13 億 4,000 万円）を超えるが、10 億米ドルに満たない企業で構成されている。アジアの国・地域別で選出された企業が最も多かったのは台湾の 30 社。インドは、日本の 29 社、韓国の 27 社に次いで 4 位となっている。

◎次期総選挙も BJP が過半数獲得か

地元メディアは、2024年に予定されている下院選挙（総選挙、定数545）でも引き続き、インド人民党（BJP）を中核とした与党連合の国民民主連合（NDA）が過半数を取得するとの予想を明らかにした。2019年の総選挙ではBJPが単独で303議席を獲得し、BJP連合政権としては348議席となった。

◎モディ首相の資産、3月時点で2,238万ルピー

モディ首相が保有する資産の総額は、今年3月末時点で2,238万ルピー（約3,800万円）。首相に債券や株式、投資信託の保有はなく、車も持っていない。保有する高額品は、17万ルピー（約30万円）相当の金の指輪4本程度であり、清廉潔白な政治家として知られている。

以上

NakajimaConsultancyServicesLLP
OfficeA-22,GreenParkMain,AurobindoMarg,NewDelhi-1100016